



藤 花

TOUKA

倉敷商工会議所青年部

倉敷市白楽町249-5

TEL(086)424-2111代

発行人 堀 裕 文

編集 総務運営委員会

常深副会頭ご挨拶



1月14日16時より倉敷アイビースクエアにおいて、新年賀詞交換会が開催されました。当日は、常深副会頭を来賓にお迎えし、会員45名が出席してひらかれました。

はじめに常深副会頭、堀会長挨拶があり、続いて財団法人倉敷成人病センター理事長須原銀兵衛氏から「いい種を播こう」についての講演の後、懇親会に移り盛況裡に終了しました。

平成十年 新年賀詞交歓会

堀会長ご挨拶



広がる交歓の輪



私は美観地区で紙を中心に扱う商売人の家庭に生まれ、両親が商売をしているのを見ながら育った事もある。小さい頃から商売に非常に関心を持っており、中学生の頃から日本経済新聞を毎日読むことが楽しみでもありました。高校一年の時父が亡くなった事もあり、子供の頃から大変興味のある経済関係でなく、医学部にやむなく進路を決める事になりました。一年半ほど東京で浪人生活

本日は、知り合いの方又、当病院の隣でもある商工会議所青年部の方とこの場を得たことを感謝し、お話を進めたいと思います。私がなぜ外国に病院をつくることになったか、日本の中だけについて日本を見ることと、外国に行くと日本を見ることはどのように違うのかこのようなことを中心に本日はお話し上げたいと思います。

記念講演会

演題

『いい種を播こう』

講師：財団法人倉敷成人病センター
理事長 須原 銀兵衛氏

プロフィール

昭和11年4月25日生
昭和43年「須原外科」を開業後白楽町にて病院を設立する。昭和46年「財団法人倉敷成人病センター」を設立、理事長に就任する。昭和48年医学博士の学位を授与される。昭和58年民間医療機関の海外進出第1号である「JAPAN GREEN HOSPITAL」をシンガポールに開設、平成3年「JAPAN GREEN HOSPITAL」をイギリスのロンドンシティに設立する。



須原 銀兵衛氏

その診療所は大変な運にも恵まれ、診療所は順風満帆の当たりをいたしました。私の論文が大変有名な賞の候補になったこともあって、九床の診療所は、大変多くの患者さんが来てくれ、開業の翌年の昭和四十四年には、納税番付で一番になると

を致しました。この一年半は私の人生に大きな影響を与えることになりました。ある時東京工業大学に進んだ友人に会い刺激を受け、この生活をいつまでも続けるより、良い大学に入りたい彼女を持ちたいと考えました。そこで岡山に帰り岡山大学医学部へ進学し、卒業、インターン終了後、昭和四十三年に診療所を開業いたしました。